

平成 2 5 年 度 同 好 会 事 業 報 告

道 徳 同 好 会 世 話 係 名 千 葉 節 子 会 長 名 塚 田 研

月 日	実 施 し た 事 業 内 容	参 加 人 員
5 月 1 日	発 足 会 、 活 動 計 画	7
5 月 2 6 日	長 野 県 道 徳 学 会 役 員 会 ①	2
7 月 1 6 日	公 開 授 業	5
7 月 3 1 日	夏 季 研 修 会	6
1 1 月 1 日	長 野 県 道 徳 学 会 松 茅 野 大 会	5
1 1 月 1 日	長 野 県 道 徳 学 会 役 員 会 ②	2
1 月 2 6 日	長 野 県 道 徳 学 会 役 員 会 ③	(2)

上高井道徳同好会八名は、塚田研先生を会長に、日々の道徳教育の実践を積み重ねながら、お互いの研鑽を深めて参りました。県道徳学会の支部代表レポート作成に向けて、七月十六日に行われた公開授業を紹介いたします。

栗ヶ丘小学校一年一組 授業者 長田みゆき教諭

主題名「やさしいところ」 2—(3) 友だちと仲良くし、助け合う

資料名「しっぱいしたって」

出典：光村図書「きみがいちばんひかるとき 1 年」

主人公「だいすけくん」は、足し算を答えることができない隣の席の「ひろみさん」に「そんなのも わからないの」と言ってしまいます。ところが翌日の生活科のこままわしの発表では、だいすけんくんは何度やってもうまくできずに、「なあんだ、できないじゃないか。へただなあ。」と友だちに言われ、泣きそうになったところを、ひろみさんが「そんなこといったら、かわいそうよ。」と言ひ、算数の時間での自分の言動に気づきます。

一人で過ごしている友だちに「一緒に遊ぼう」と遊びに誘ったり、「〇〇ちゃんが遊ぼって言ってくれたから一緒に遊べたよ」と嬉しそうに語ったり、カブトムシを一

緒に見たり触ったりしている一年一組の子どもたちが、資料の「だいすけさん」の気持ちを考えることを通して、友だちに優しい心で接していこうという気持ちになる、という主眼で、教師と児童とでの役割演技を取り入れたり、「だいすけさん」の気持ちを学習カードに書き発表し合ったりすることを中心に、授業が展開されました。子どもとのやり取りの中から大事な発言を引き出していく点、子どもたち一人一人の言葉をしっかり受けとめ、その内容を全体に広げていく点、二枚の絵とだいすけくんの言葉（思い）の吹き出しのみのわかりやすい板書、子どもがじっくりと考えカードに書く時間を保証した点、良い気持ちで次の生活につながる授業の終末、など長田学級から多くのことを学ばせていただきました。

（文責 堀川 博光）